

研究不正調査および大学側の対応に関する要旨

Background:

- 2019年4月3日、6つの出版物の数値に問題がある可能性を示唆する外部からの申し立てが大学に寄せられた。連邦規則および本学の管理規則7:1に従い、2019年4月4日に医学部（CoM）において疑惑の査定が開始された。この査定では、2019年4月8日に照会に移行することが示唆されました。照会段階は2019年4月29日に始まり、CoMおよびマーキーがんセンターの医師科学者教員であり、UKヘルスケアの臨床医であるJohn D’Orazio, MD, PhDが最初の回答者となった。D’Orazio医師は、特定された出版物の複数の著者の一人でした。照会段階に従い、照会領域で有能な2人の教授委員会により報告書が作成され、D’Orazio博士はその報告書に対して回答を提供し、それらの文書はCoMおよび研究担当副学長（VPR）に提出されました。2019年8月17日、連邦研究公正局（Federal ORI）は、2019年4月3日に同じ外部ソースから同じ申し立てを受けたことを大学に通知しました。また、連邦ORIは、国立衛生研究所（NIH）からの追加情報を本学に通知しました。D’Orazio博士が研究責任者を務めた2つのNIH助成金提案書に含まれる数値も調査するよう、大学に提案されたのです。報告書と回答の検討の結果、CoMは調査への移行を勧告しました。調査は2019年8月29日に開始され、調査領域において有能な3人の教員パネルが新たに参加しました。2019年11月22日、2019年9月13日に本学を退職したときの研究助教授であるStuart Jarrett博士が調査の回答者として追加された。Jarrett博士は2012年半ばにD’Orazio博士の研究室に加わり、特定された6本の論文の共著者であり、連邦ORIおよびNIHが参照した助成金のデータ提供者であった。調査委員会は、該当する助成金提案の他に、
- 連邦および大学の規則で定められた6年間のルックバック期間に、D’Orazio博士とJarrett博士の論文の代表的なサンプル（26件中14件）をレビューした。このうち、0回答者両名が共著者となっている論文は8本、0Jarrett博士のみとの論文は3本、0Jarrett博士が研究室に加わる前のD’Orazio博士のみとの論文は3本である。調査委員会は、報告書のドラフトを回答者に提供し、
- 回答を求めた。報告書、あらゆる回答、および委員会の勧告は、2020年4月16日に大学の上層部に提供された。その後、大学は提出されたすべての情報を検討し、連邦政府ORIおよびNIHにその決定、調査結果および計画された行動を通知し、2020年8月26日にこのエグゼクティブサマリーを発行した。